

日本アンテナ 取扱説明書

利得切換式 3224MHz対応 屋外用電源着脱型ブースター BS・110°CS・UHF増幅 MODEL NSB42DSUE

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。

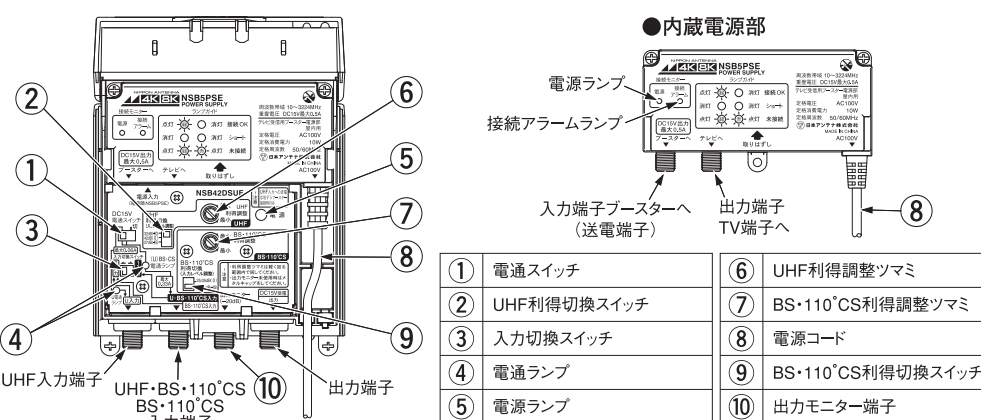
SHマーク（スーパーハイビジョン受信マーク）は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）で審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

このマークは放送法「不要放射34dBμV/m以下」に準拠、設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。

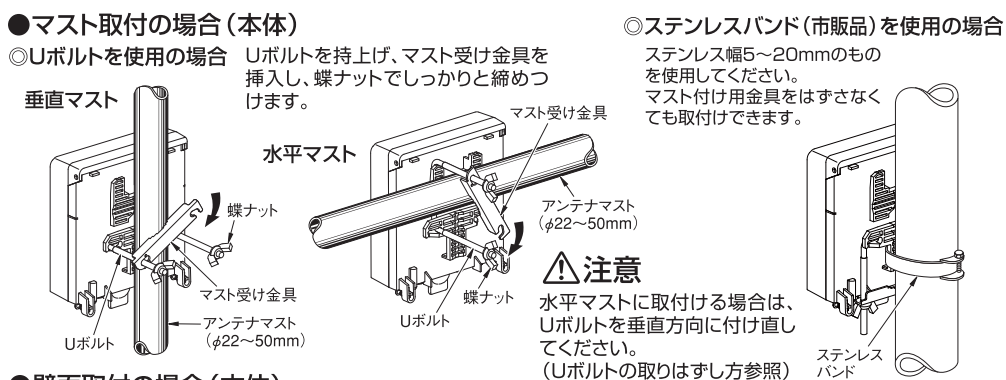
- 同梱品 防水キャップ……………3個 マスト受け金具（本体取付済）……………1個
- 5C F型接栓（リング付）……………5個 取付ねじ（本体取付済）……………5本
- Uボルト（本体取付済）……………1個 取扱説明書（保証書付）……………1部
- 蝶ナット（本体取付済）……………2個 モニター用メタルキャップ（本体取付済）……………1個

出荷時の設定 ●UHF（利得調整 最小、利得 32dB側） ★入力切換スイッチ "2入力"
●BS・110°CS（利得調整 最小、利得 15/25dB側） ★電通スイッチ "切"
★印の設定は "使用例および調整方法" を確認のうえ設定をお願いします。

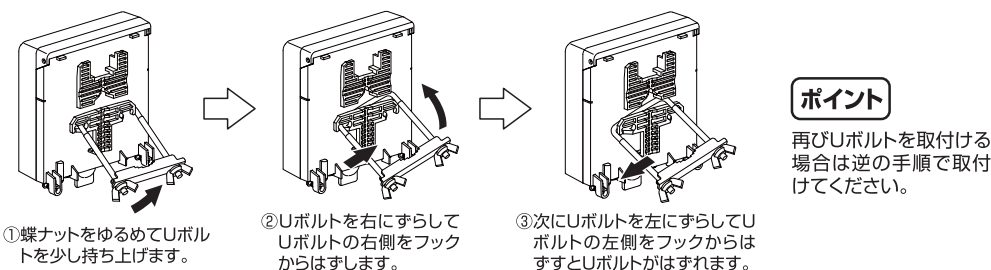
各部の名称



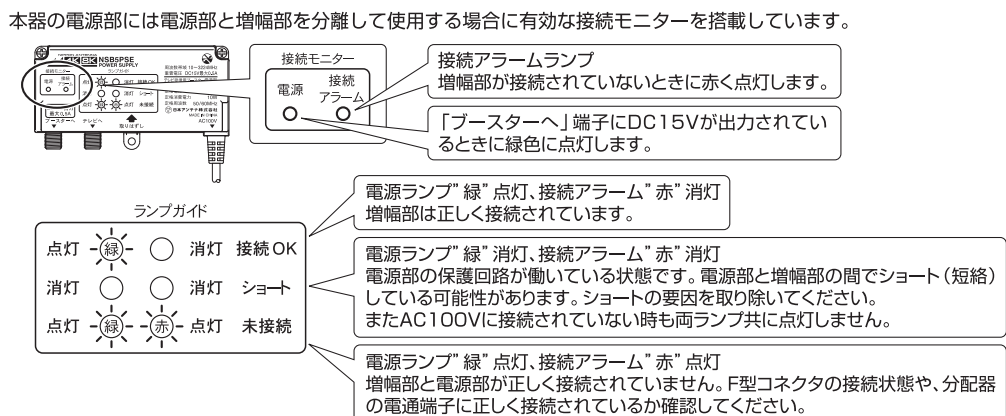
取付方法



Uボルトの取りはずし方



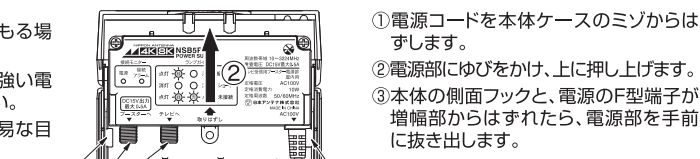
電源部接続モニターの見方



設置場所・条件・電源分離方法

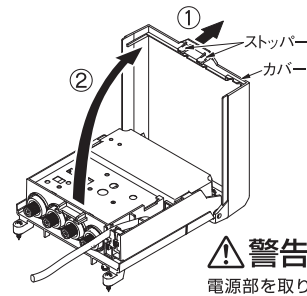
- 高温の場所、有毒ガスなどの発生する場所はさけてください。
- 増幅部は発熱しますので、熱のこもる場所はさけてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁波を受ける場所をさけてください。
- 本体や電源部はメンテナンスに容易な目の届く場所に設置してください。

電源部（NSB5PSE）の取りはずしかた



ケースの開けかた

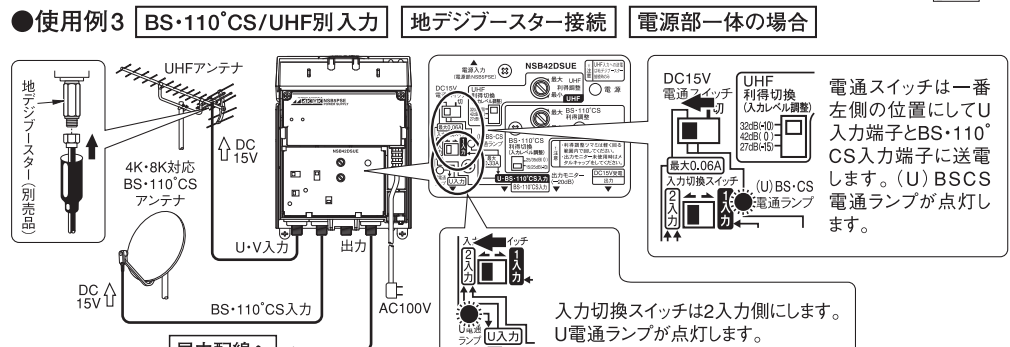
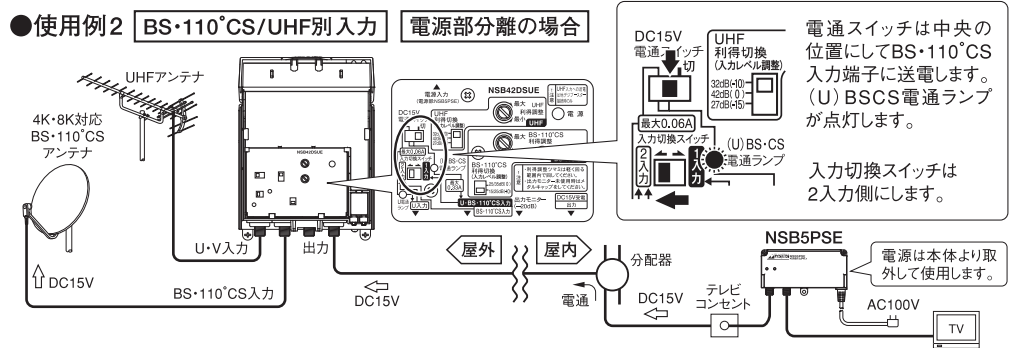
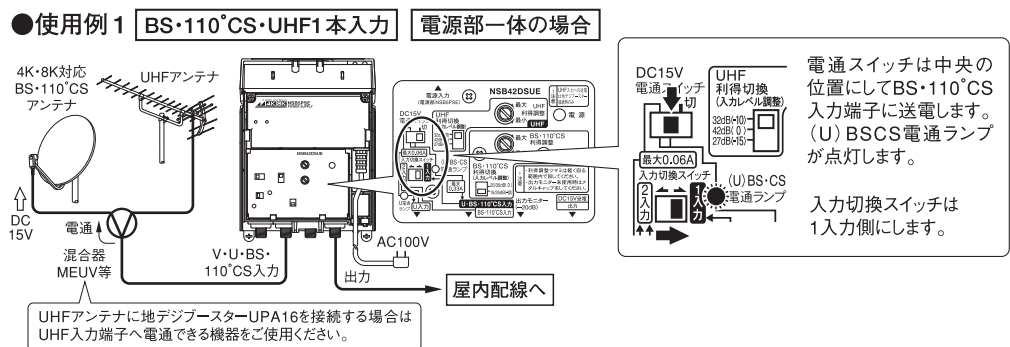
カバーを上側へ持ち上げると開きます。カバーは本体に対して直角程度まで開くとストッパーで固定されます。操作が完了したらカバーをしっかりと確実に閉めてください。



ブラケットツマミの操作

- （電源部を取りはずして使用する場合は）
●電源部を取りはずしたあとは必ず電源コード用のブラケットツマミ（左側）を上へスライドさせ、穴をふさいでください。
●雨やほこりの侵入を防ぎます。

使用例（接続例）および調整方法



UHF帯域とBS・110°CS帯域の入力レベル調整と利得調整について

- テレビ画面が映らなかつたり（ブラックアウト）、モザイク状のノイズ（ブロックノイズ）が出る場合は、電波が強すぎるかまたは、電波が弱いことが考えられます。
- 製品出荷時の各スイッチの設定は、UHFは32dB側、BS・110°CSは15/25dB側に設定されています。
- UHFの受信電波が弱い場合
UHF利得切換スイッチ42dB側（中央）に切り換えてUHF利得調整ツマミを調整してください。それでも改善しない場合はアンテナの方向や設置位置を確認、改善してください。
- UHFの受信電波が強い場合
UHF利得切換スイッチ27dB側（下側）に切り換えてUHF利得調整ツマミを調整してください。それでも電波が強い場合は、別売の減衰器（アッテネーター）を該当する入力端子、もしくは受信アンテナの出力端子に接続してください。
- BS・110°CSの受信電波が弱い場合
BS・110°CS利得切換スイッチ25/35dB側（上側）に切り換えてBS・110°CS利得調整ツマミを調整してください。それでも改善しない場合はアンテナの方向や設置位置を確認、改善してください。
- BS・110°CSの受信電波が強い場合
BS・110°CS利得切換スイッチ15/25dB側（下側）に切り換えてBS・110°CS利得調整ツマミを調整してください。それでも電波が強い場合は、別売の減衰器（アッテネーター）を該当する入力端子、もしくはBS・110°CSアンテナの出力端子に接続してください。減衰器は必ず電通タイプをご使用ください。

適正入力レベル範囲

帯域	利得切換スイッチ（減衰量）	利得切換スイッチが左図の時の適正入力レベル範囲		ポイント
		利得調整ツマミ最大の状態	利得調整ツマミ最小の状態	
UHF	42dB (0dB)	最大: UHF利得調整 最小: UHF	最大: UHF利得調整 最小: UHF	●本器には-20dBの出力モニター端子がありますので、市販のレベルメーターなどを接続して出力レベルを確認することができます。 ●出力モニター使用後は必ずメタルキャップを取付けてください。
	32dB (0dB)	最大: UHF利得調整 最小: UHF	最大: UHF利得調整 最小: UHF	
	27dB (0dB)	最大: UHF利得調整 最小: UHF	最大: UHF利得調整 最小: UHF	
BS・110°CS	25/35dB (0dB)	最大: BS・110°CS利得調整 最小: BS・110°CS	最大: BS・110°CS利得調整 最小: BS・110°CS	●本器には-20dBの出力モニター端子がありますので、市販のレベルメーターなどを接続して出力レベルを確認することができます。 ●出力モニター使用後は必ずメタルキャップを取付けてください。
	15/25dB (0dB)	最大: BS・110°CS利得調整 最小: BS・110°CS	最大: BS・110°CS利得調整 最小: BS・110°CS	
	15/25dB (0dB)	最大: BS・110°CS利得調整 最小: BS・110°CS	最大: BS・110°CS利得調整 最小: BS・110°CS	

左旋サービスが始まっていない場合のレベル調整

左旋サービスが始まっていない時期に4K・8K対応BS・110°CSアンテナを設置する場合は、右記のレベルを目安に調整してください。

ND24 (2053MHz) : 97.6 (dBμV)

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
	△記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。	
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。	
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。)が描かれています。	

警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電源を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づいたり)引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると、火災・感電の原因となります。
- 万一、本品を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。
- 本品上面のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。また、本品の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者にご依頼ください。

注意

- お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所(調理台や加湿器のそば)に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード(アンテナ線、機器間の接続コードなど)をはずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - ◆次のような使い方はしないでください。
 - 本品を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - テーブルクロスを掛けたり、ひょうたんや、布団の上に置く。
 - お向付けや横倒し、逆さまにする。
- 旅行などで長期間、本品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 本品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
- お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 本品の取付工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
 - * 送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
 - * CS、BS放送用受信アンテナは強電の影響を受けやすいので、堅固に取付・設置してください。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本器の上他に他の機器を乗せたり、本器を他の機器の上に重ねないでください。他の機器の発熱によって、本器内部の温度が上がり、故障の原因になることがあります。

標準性能表

増幅部

項目	型名	NSB42DSUE		備考
周波数帯域(MHz)		UHF	BS・110°CS	
		470~710 (13~52ch)	1032~3224	
利得(dB)		42	25/35 ※3	切換式 標準値 (入力レベル調整)
		32	15/25 ※3	
		27		
利得調整範囲(dB)	0~10	0~10	連続	
適正入力レベル(dBμV)	40~86	45~88(48波)		
定格出力レベル(dBμV)	103(9波)	93/103(48波) ※3		
雑音指数(dB)	2.5以下 ※1	10以下	利得最大:2入力(ヘッド)時	
入力・出力インピーダンス(Ω)		75	F型	
電圧定在波比	3以下	2.5以下		
2次相互変調[IM2](dB)	—	—31以下(48波)		
3次相互変調[IM3](dB)	—68以下	—61以下(48波)		
ハム変調(dB)		—50以下		
出力モニター結合量(dB)		—20	標準	
受電電圧/電流(V/A)		DC15/0.15	増幅部	
消費電力(W)		3.5		
入力端子送電時		9.6	※2	
通電容量(V/A)		DC15/0.33	入力端子合計で	
使用温度範囲(°C)		—20~+50	本体周囲温度	
外形寸法(mm)		高さ136 幅121 奥行48		
質量(kg)		0.6	電源部含む	

- 適正入力レベル範囲はチャンネル数および各チャンネルのレベル差などにより多少異なります。
- 入力端子へ15Vの送電が可能です。(ON・OFF切換スイッチ、パイロットランプ付)

電源部

項目	型名	NSB5PSE	
周波数帯域(MHz)		10~770	770~3224
挿入損失(dB以下)		1.5	3.0
電圧定在波比(以下)		1.5	2.5
電圧(V/W)		AC100(50/60Hz)/10	
入力・出力インピーダンス(Ω)		75(F型)	
重畳電圧(V/mA)		DC15/最大500	
使用温度範囲(°C)		—20~+50 ※4	
外形寸法(mm)		高さ32 幅110 奥行58	
質量(kg)		0.21 ※5	

- ※1 490~680MHzは2.0以下
- ※2 地デジプースター: 0.06A
BS・110°CSアンテナ: 0.27A送電時
- ※3 1032/3224MHzの値
- ※4 本体周囲温度
- ※5 電源部単品

●接続モニターランプ付き

保証書

型名	NSB42DSUE		
お客様	お名前		
	ご住所		
	電話番号	()	
お買上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号		
	年 月 日		
保証期間(お買上げ日より)	本体1年 (但し消耗品は除く)		

- 保証期間内で次の場合には有料修理とさせていただきます。
 - ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ② お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③ 火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
 - ④ 海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
 - ⑤ ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
 - ⑥ 異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
 - ⑦ 用途以外で使用した場合の故障および損傷。
 - ⑧ 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑨ 消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
 - ⑩ 日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
 - ⑪ 本書のご提示がない場合。
 - ⑫ 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

- ご購入品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(付属品)

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称
編組線、芯線、F型接栓、外被、アルミ箔、絶縁体、アルミリング

防水キャップは必ず同軸ケーブルに通してください。

※付属の防水キャップは接栓を取付けた後からでも通すことができます。

① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)

② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

④ 編組線をめくりあげます。

⑤ 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

⑥ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

⑦ 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

▲注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

ポイント

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m(約20kgf・cm)

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がなければ確認し、付着物がある場合は、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。(※同軸ケーブルを交換する場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

使用上の注意

アンテナレベルについて

注1 デジタルテレビなどの「アンテナレベル」の数値は、アンテナ設置方向を確認する際の目安値です。電波の強さを表す値ではないため、本器を使用しても大きくなるとは限りません。

デジタル放送受信について

注2 本器設置後、テレビ画面が映らない(ブラックアウト)、画面上にモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などの症状が出る場合は、調整の他に以下の項目をご確認(調整して)ください。

—テレビ(チューナー)への入力レベルが低い場合—

- 地上デジタル放送受信の場合は、受信エリアをご確認ください。
- アンテナの位置、方向および高さなどを、調整してください。

—テレビ(チューナー)への入力レベルが高い場合—

- テレビのアンテナ入力端子に減衰器(アッテネーター・別売品)を取付けてください。

注3 チャンネル間のレベル差が極端に大きいと、レベルの低いチャンネルにモザイク状のノイズ(ブロックノイズ)などが出る場合があります。

機器の接続について

注4 入力端子・出力端子のケーブル配線および接続は確実におこなってください。(入力端子・出力端子のケーブル配線や接続方法が悪いと画像不良の原因となります。)

注5 F型接栓の接続は確実におこなってください。F型接栓がゆるんでいると、風によるケーブルの振動などにより、F型接栓がはずれることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかり固定してください。

注6 電源部を分離して使用する場合、電源部とプースター(増幅部)の間に電流通過型ではない分配器などが接続されていると、本器は正しく動作しません。電流通過型の分配器などをご使用ください。また、電流通過端子に接続されているかをご確認ください。

注7 UHFアンテナに直接電気を送らないでください。

注8 UHF入力端子に地デジプースターUPA16を接続しない場合は、必ず電通スイッチを「中央」にしてください。地デジプースターを接続しないで電通スイッチを「左側」にすると接続されたアンテナにより電源がショートし、プースターが正常に動作しません。

注9 4K・8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器、同軸ケーブルなどは、すべて3224MHzまでの周波数帯域で特性が保証されているものをご使用ください。

注10 本器はFM・VHFは通過しません。

電源部について

注11 電源部は本器専用です。他のプースターなどに使用しないでください。

注12 電源部は少し温かくなりますが、これは電子部品の放熱作用によるもので本品の故障ではありません。

お客様窓口	0570-091039	ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)
-------	-------------	--

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7112364 平成29年10月